

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2021 年 1-3 月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 298 社から回答があった。景況判断 DI は▲25 となり、前期調査(▲27)から 2 ポイント改善した。一方、来期の見通しは▲30 となり、5 ポイント悪化する見込みとなっている。

経営上の問題点を見ると、2 期ぶりに「需要の停滞」が 1 位となった。なお「従業員の不足」は、3 期連続で割合が増加している。

以下、その他業況感 DI の内訳

2020 年 10-12 月期に対して、

- ・売上高 DI は▲9 で、20 ポイント悪化
- ・処理量 DI は▲12 で、19 ポイント悪化
- ・営業利益 DI は▲11 で、4 ポイント悪化
- ・資金繰り DI は▲1 で、前期と変わらず
- ・借入難易度 DI は 6 で、3 ポイント悪化
- ・設備投資 DI は▲4 で、3 ポイント悪化
- ・従業員数 DI は▲6 で、2 ポイント悪化

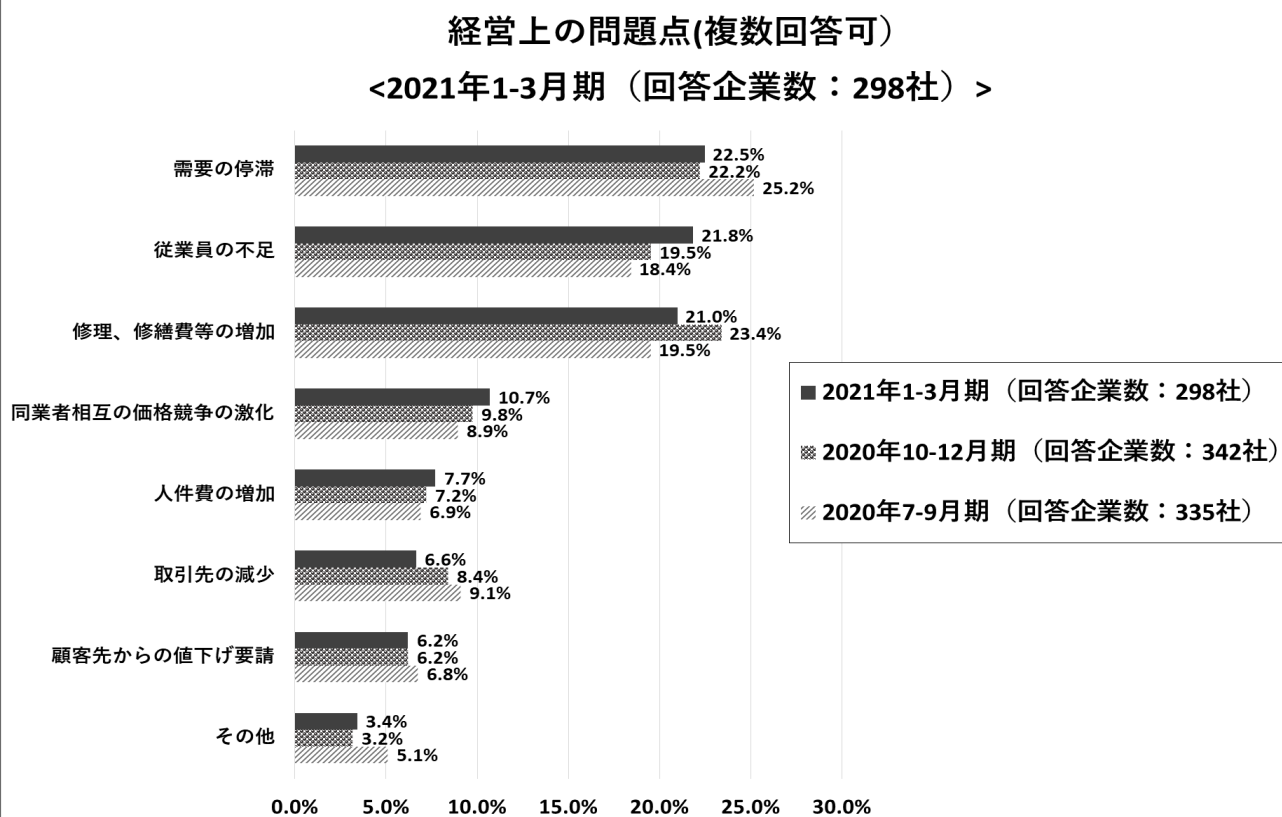
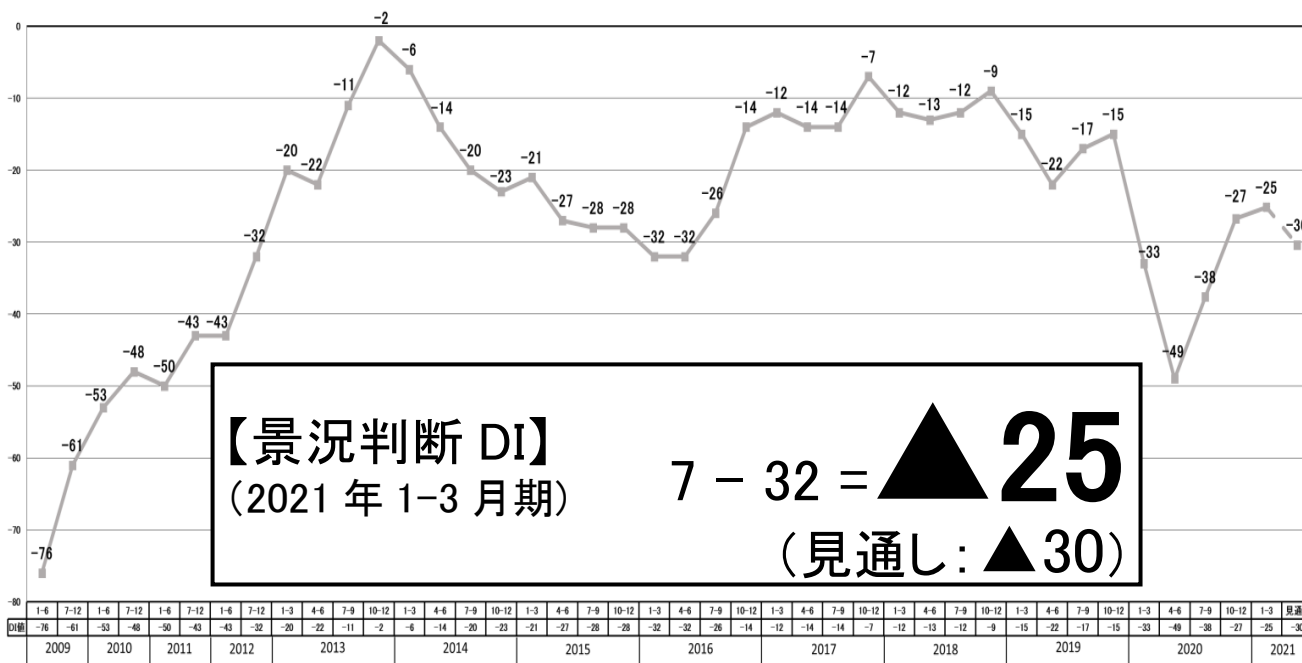
- 売上高の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 0.8%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 2.8%減となった。
- 経常利益率については、平均値が 7.1%で前期調査(6.2%)より改善した。

※DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

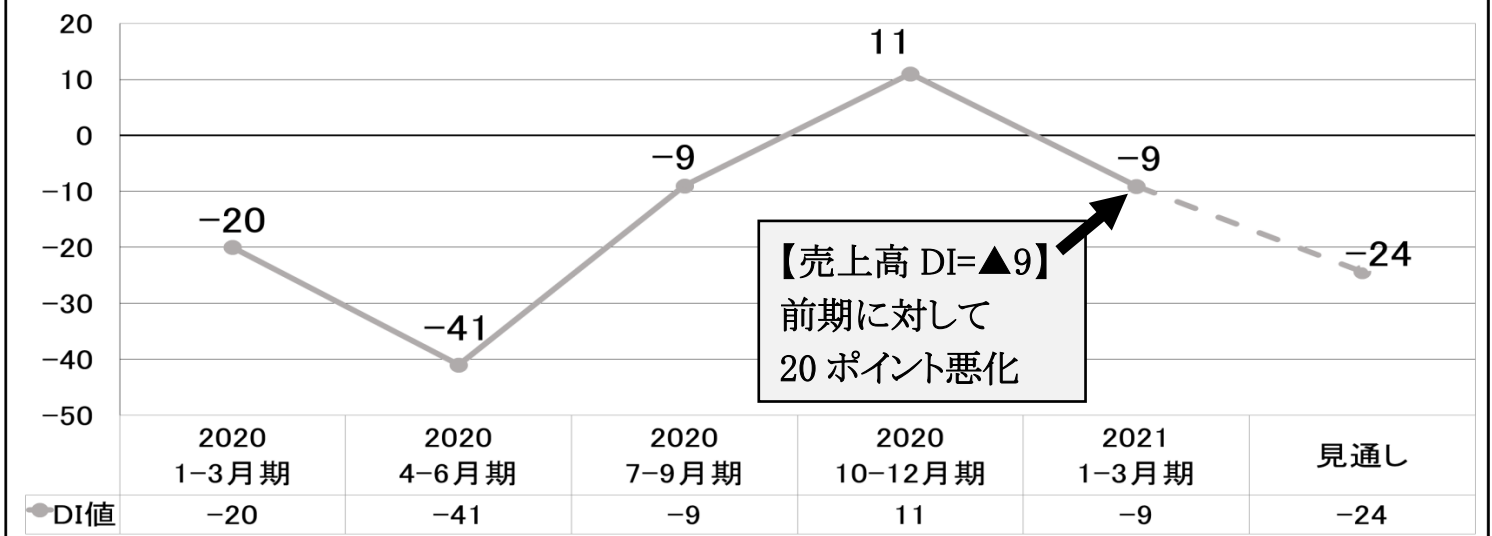
※本調査は、2009 年から半期周期の調査として実施していたが、2013 年からは四半期周期の調査に変更している。

〔調査の要領〕

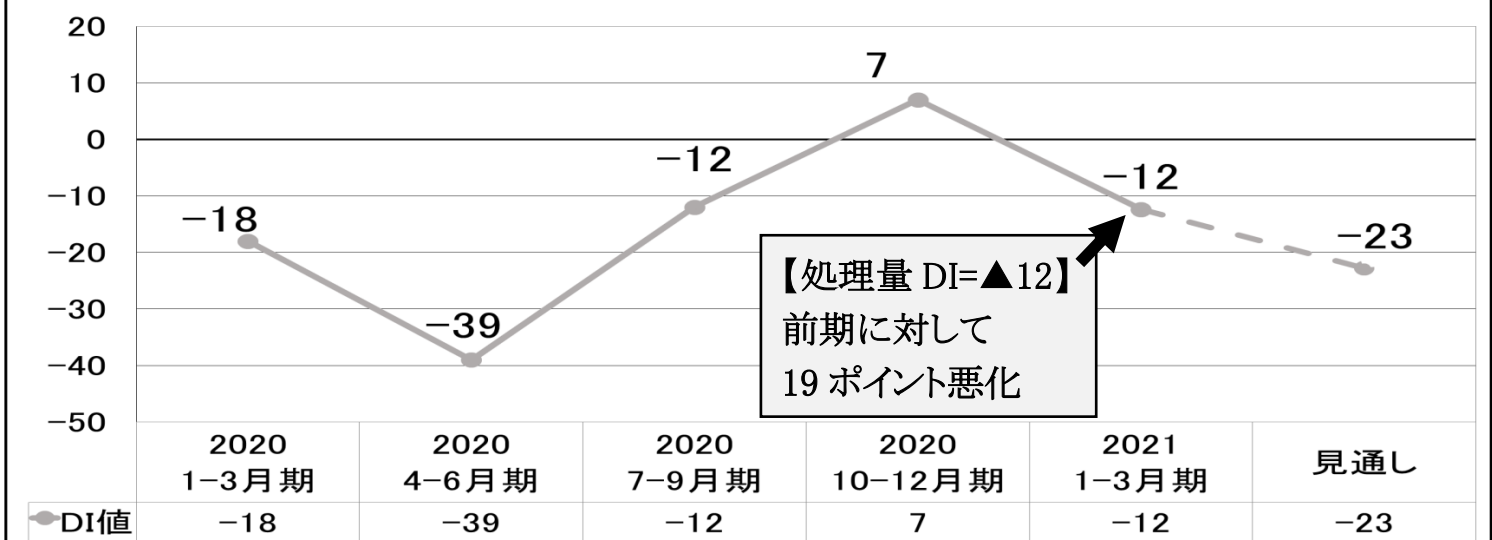
- 調査の対象:2008 年 10-12 月期で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:郵送によるアンケート
- 調査期間:令和 3 年 4 月 9 日～5 月 6 日
- 回答企業数:298 社



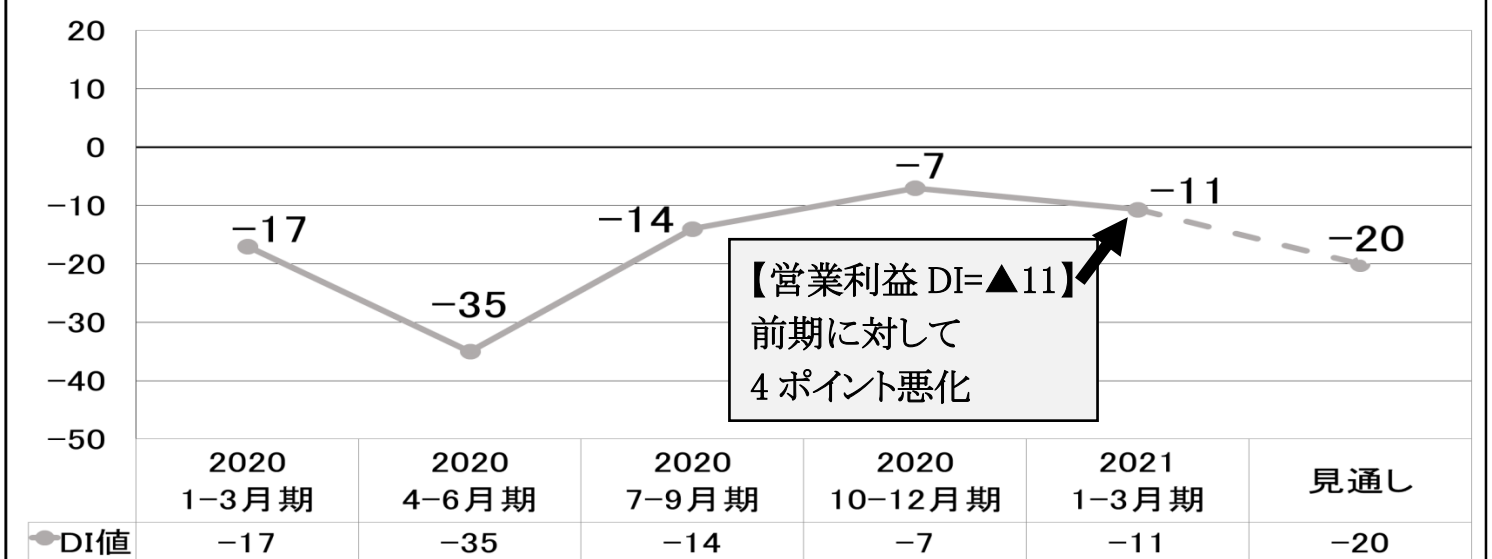
売上高DI
(2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



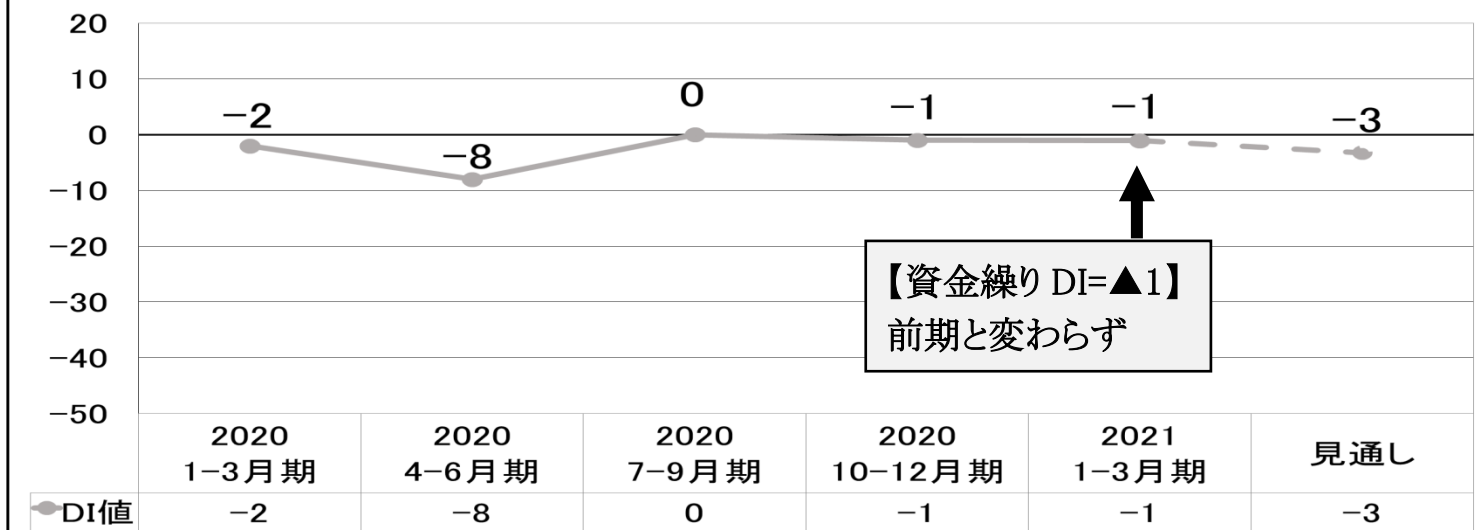
処理量DI
(2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



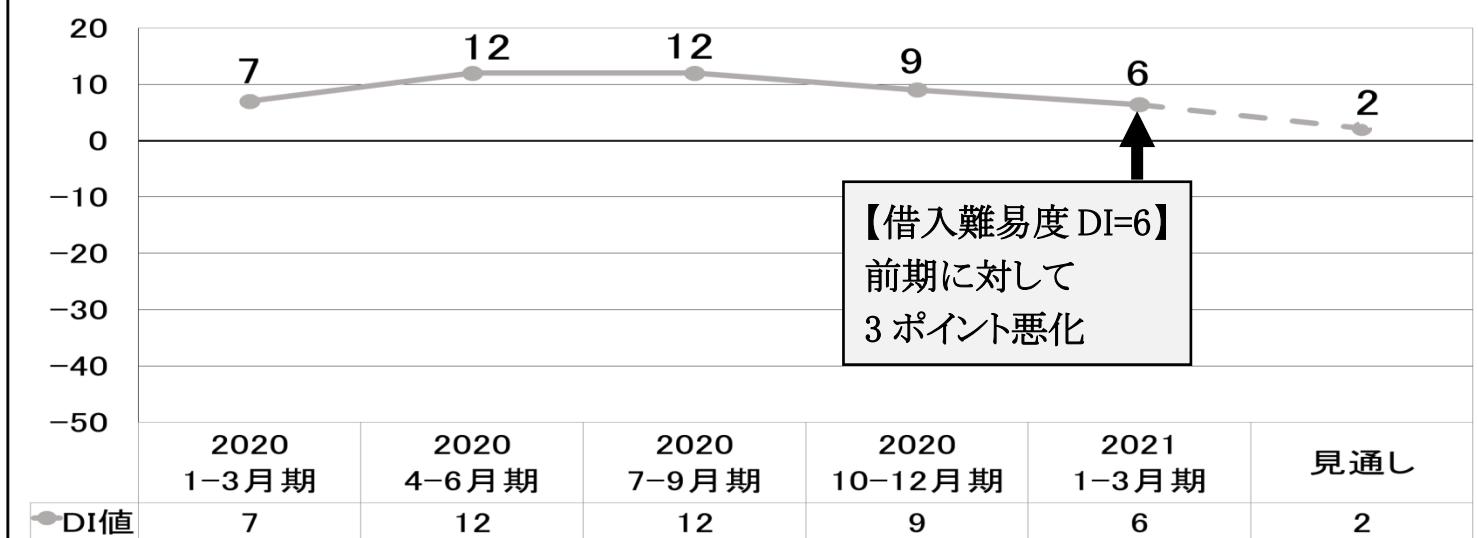
営業利益DI
(2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



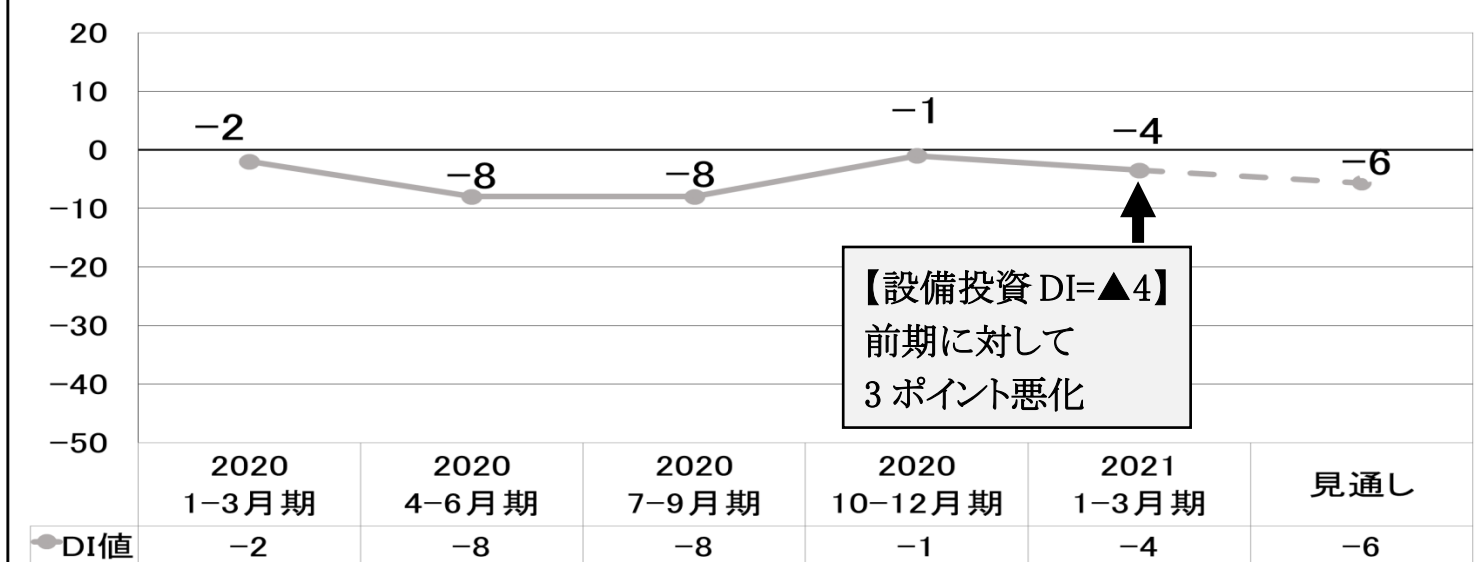
資金繰りDI (2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



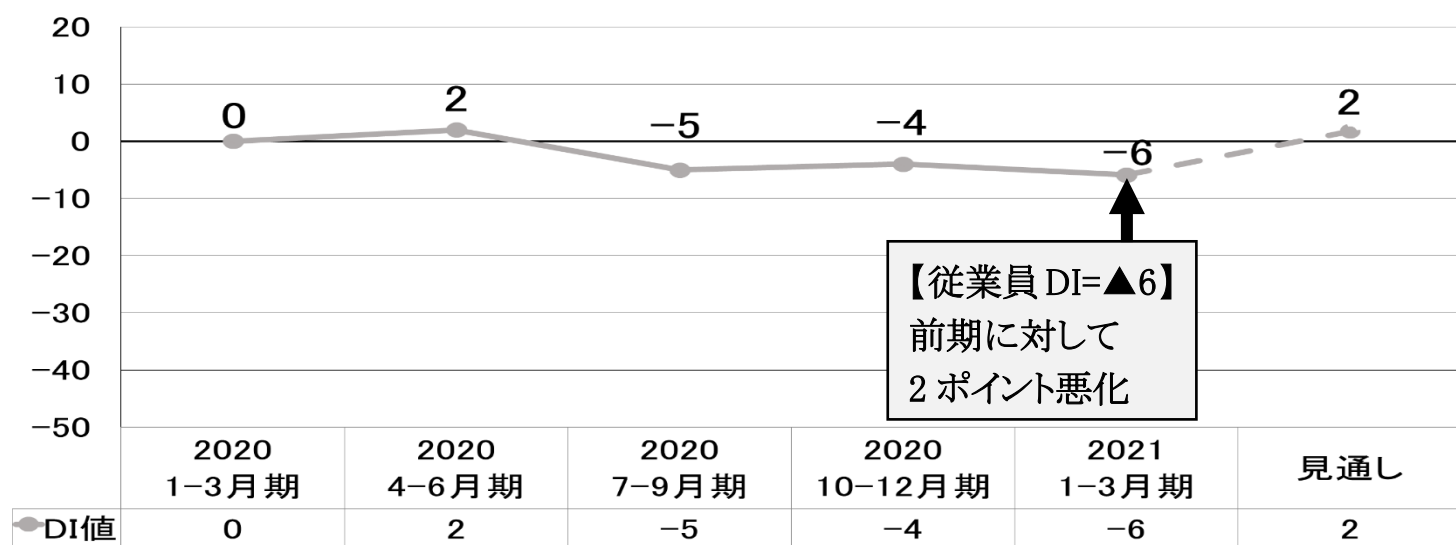
借入難易度DI (2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



設備投資DI (2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



従業員数DI (2020年1-3月期～2021年1-3月期と見通し)



【従業員DI=▲6】
前期に対して
2ポイント悪化

【その他業況感 DI の地域別レーダーチャート】

